

## 好評「ながた候補の話とてもよかった」 最終盤に向けて支持を広げよう！！

YouTube 1/30 北九州市  
長選挙合同・個人演説会



1月31日、門司区大里南市民センターで開かれたながた候補の個人演説会には60人が詰めかけました。ながた候補はパネルを使った“紙芝居”で、ながた市政による新しい未来像を示しました。

まず取り上げたのは、末吉市政時代から続く「大型ハコモノ市政」の弊害です。市の借金は1兆4000億円にものぼり、返済のため市民の税金が毎年700億円もつぎ込まれていると指摘。「安全性、採算性もない下関北九州道路の建設を3500億円もかけて推進していいのか」と問いかけました。

その一方で、7カ所あった保健所が1カ所に減らされるなど、市民の暮らし・いのちを守る体制が崩されてきたことを批判。「私は市民の暮らし応援に本気で取り組む」と力を込めました。子育て支援では、学校給食費無償化の動きが250以上の自治体で広がっており、北九州市での実現を訴え。高齢者支援は、タクシーにも使える福祉乗車券や、補聴器の助成制度などの実現を求めていくと語りました。若者支援についても奨学金制度の充実とともに、非正規雇用から正規雇用を増やし、安心して暮らせる北九州をつくると約束。4候補が参加した合同演説会でも「だれが市長になっても正規雇用を増やしていこう」と呼びかけたことを紹介しました。

最後に、省エネ、再エネ対策に取り組むことで、地元企業への仕事が増え、3万人の雇用が増えるとの研究者の試算を示し、地球温暖化対策と中小企業対策を結び付け、北九州を活性化していくと、力をこめました。



### 戦争でお寺の“つりがね”が兵器に

2/1 会車では高瀬県議とともに、知足寺住職の岸川真琴さんがながた候補の応援で、平和の大切さを切々と訴えました。



小倉南区 ながた候補の応援をする高瀬県議と岸川真琴さん↑

### ながた候補の公約が“市政”動かす

ながた候補が訴える「子育て支援3つのゼロ」が市民の間で大きな反響を呼び、他候補も「学校給食の無償化」を言い出すなど、大きな変化をつくり出しています。

マスコミアンケート回答の「学校給食費の“軽減”」から、合同個人演説会では「無償化」の発言をしました。市民に寄り添ったながた候補の政策が、すでに市政に大きな影響を及ぼしています。

期日前投票に行きましょう！ (土日でもできます)

区役所 (8時半～20時)、出張所 (8時半～17時)

セントシティ、イオン戸畑、イオンモール八幡東は2/1～

